

Weekly Report



事務局：460-0003

名古屋市中区錦1-13-19
名錦ビル7F

TEL: 052-211-3803

FAX: 052-211-2623

MAIL: 2760_nagoya@mizuho-rc.jp

URL: http://www.mizuho-rc.jp/

創立：1980年(昭和55年)1月10日

会長：梅村 昌孝

幹事：湯澤 勇生

クラブ委員長：北岡 寿人

例会日：毎週木曜日PM12:30～

会場：ヒルトン名古屋

2022-23年度
名古屋瑞穂ロータリークラブ
会長のテーマ

「かけがえない時間を取り戻そう」
～ウイズコロナ・ポストコロナ時代に向けて～

2022-23年度
国際ロータリーのテーマ
大きな夢をかなえた
ロータリーを想像して
(IMAGINE ROTARY)

第2025回例会

～地域社会の経済発展月間・米山月間～
クラブテーマ：「熱田の杜・友愛・気品」

2022年10月6日(木) 曇 第12回例会

司会：福岡逸人 会場委員
斉唱：「君が代」「奉仕の理想」
ゲスト：内閣府地方分権改革推進室 総括参事官
細田大造さん
ビジター：名古屋名駅RC 高田統夫さん

会長挨拶

梅村昌孝会長

皆さんこんにちは。最近、地球の畜産を取り巻く環境が厳しくなってきたのを感じます。家畜を飼育する畜産ではメタンガスや窒素酸化物を多く排出するようです。

これらのガスは熱をため込む力が二酸化炭素よりも高く、気候変動の主要な原因の一つとされています。

また、家畜のエサの生産と移送、肉の加工・輸送を含めると、人類による温室効果ガスの全体の約4分の1を占めるという試算もあるようです。

そこで、畜産に代わる手段として「培養肉」が注目されています。で牛や鶏などの肉を培養して食用の肉にするというものです。培養肉は清潔な無菌的な培養工場で生産され、ほとんど加工せずに出荷することができます。家畜の飼育が必要ないため、現在の畜産に必要なエサ代も広い牧場も必要ありません。家畜が成長するまでの年単位の時間も肉を加工する必要もありません。水耕栽培の野菜に似ています。会員の内田さんお話ですと、野菜は無菌状態で育てられているので、洗わずにそのまま食べても大丈夫なのだそうです。しかし、培養肉に関しては日本ではまだ安全基準はなく食品としては販売できないようですが、研究が着々と進められているようです。気候変動や食料危機への対応が迫られる状況を考えますと、今後、広まっていくかもしれません。暫らくすると、肉も野菜も工場で作る時代になるのかもしれません。



出席報告

中嶋修出席委員

会員69名 出席52名 (出席計算人数53名)

出席率 62.3%

ニコボックス

中嶋修ニコボックス委員

- ・ 細田大造さん本日の卓話楽しみにしています。よろしくお願いたします。
星野一郎さん 高田統夫さん
- ・ 妻の誕生日にお花をありがとうございました。 森 裕之さん
- ・ 昨日10月5日は家内の誕生日でした。 松波 恒彦さん
- ・ みなさんこんにちは。 梅村 昌孝さん
- ・ 関谷さんお世話になりありがとうございました。 湯澤 勇生さん

- ・ 関谷さんに大変お世話になりました。土曜日の野球の試合がんばります。
鈴木 淑久さん
- ・ 昨日は関谷さんにお世話になりました。ありがとうございました。
鳥山 政明さん
- ・ 関谷さん昨日はお世話になりました。ありがとうございます。
大嶽 達郎さん
- ・ 関谷さん昨日はお世話になりました。 堀 慎治さん
- ・ 関谷さん先日は大変お世話になりました。ありがとうございました。
今朝は久しぶりに野球部の練習に参加して気持ち良い汗をかいてきました。
田中 宏さん
- ・ 関谷さんありがとうございました。 内田 久利さん 内藤 晶文さん

幹事報告

湯澤勇生幹事

- ・ 10/6(木) 13:40～第4回理事会 ヒルトン4F「杉の間」
- ・ 10/13(木) R規定により例会休会
- ・ 10/20(木) I.D.M 若宮の杜 18:00～
当日は祭事があるので駐車場は近隣のみ利用可能 タクシーの乗り入れ可
- ・ 名古屋栄RCより東山動植物園 秋祭りの招待券を5枚頂いています。ご興味の方は受付に置いてありますのでご利用ください。
- ・ メールボックス 地区資金決算書を入れました。

委員会・同好会報告

ゴルフ部会

原田敬生さん

- ・ 10月21日(金)三好カントリークラブ西・東コースにて4RC合同親睦ゴルフコンペを瑞穂RCがホストにて開催いたします。当日当クラブから21名の参加をいただいております。ルールは、西・東各の各クラブ上位4名のスコアを計算して、団体賞を決めさせていただきます。今年度は昨年度に続きの連覇がかかっておりますので、21名の方のご健闘を願っております。よろしくお願いたします。
- ・ 11月8日に第43回のゴルフ例会が愛知カントリーにて開催されます。

野球部会

鈴木淑久さん

- ・ 10月8日(土)豊田運動公園で名古屋中RCとの試合があります。試合開始時刻が15時15分となっておりますので、1時間前の14時15分に集合していただきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

10月誕生日おめでとう

内藤 晶文さん 長谷川 隆さん 梅村 昌孝さん
新見 光治さん 鈴木 実さん

今日は、このような機会をいただきありがとうございます。東海高校の文化祭で、「東京をどうする、地方をどうする」というテーマでクラス発表をしました。当時はバブルの地価高騰で東京一極集中が問題になり、首都機能移転の機運が盛り上がっていた時で、名古屋を首都にできないかというテーマをこの文化祭で取り上げました。私はこれをきっかけに地方活性化に興味を持ち、大学卒業後、自治省(当時)に就職しました。



これまで地方では、静岡県庁、三重県庁、岐阜県庁に勤めまして、石川県の金沢市では副市長を3年させていただきました。地方勤務は12年になります。行政だけでなく、名古屋青年会議所、名古屋JCにも6年間所属し、実業の皆様と一緒に地方活性化に取り組んできました。また、学生時代に自ら立ち上げた中日ドラゴンズの応援サークルが今年で33年目を迎えています。

今日は今担当している地方分権と、以前に勤務していた金沢市のまちづくりの話させていただきます。地方分権は1993年の国会の決議から始まったものです。当時は機関委任事務と言い、権限は国にありながら、地方自治体に事務を委任する業務がありました。例えばパスポートの発給や飲食店の営業許可などです。国はこれに通告を出して地方自治体に様々な要求を行うことができました。この機関委任事務が、2000年に施行された地方分権一括法により廃止されました。この法律改正には入省間もない私も携わりました。これまで国と地方で、上下・主従の関係あった中央集権型のシステムから、国と地方が対等協力の段階に入ったとされています。

そして8年前、提案募集方式が始まりました。これは地方の困りごとを国と地方が一緒になって解決していく仕組みです。地方からの相談を内閣府地方分権改革推進室が受け、国の各役所や地方公共団体と協議します。毎年300件程の相談が寄せられ、これまで3300件程の案件に対応してきました。例えば、今70歳~74歳の方の場合、医療費の窓口負担はご本人の収入によって変わります。今まではご本人に収入状況をご申請頂いていましたが、市役所は収入情報を把握していますので、省令を改正してご本人からの申請はいらないようにしました。地道ですが、皆様方の身近な生活でのお困りごとを一つ一つ解決していくのが私たちの仕事です。

次に地方創生や地方活性化の一つとして、私が金沢市で副市長をさせていただいた時の経験をお話します。金沢のまちづくりには、明確なコンセプトがあります。それは「伝統」と「革新」です。古いものを大切にしながら、新しい価値を創造するということです。ぼんぼり祭りは「花咲くいろは」という金沢の温泉を舞台にしたアニメから10年程前に生まれました。期間中、全国からアニメファンが金沢に押し寄せます。これ自体は革新的なことですが、その基にもととの伝統的な文化があることで、アニメやゲームの聖地巡礼とのタイアップが活きてきます。

名古屋の熱田の地域を舞台にした映画「名も無い日」、私も拝見いたしました。これもひとつの革新です。この映画が革新になり、次の新しい伝統を作っていくと思います。あつた宮宿会の取組も素晴らしいと思います。本物の文化やその価値を知り、大切にされている

当事者だからこそ、説得力があります。

金沢には、日本三名園の一つ兼六園、金沢21世紀美術館、武家屋敷などがあり、こうした名所が歩いてまわれる範囲にあるのが特徴です。市内に120程の茶室があり、お能など伝統芸能も市民に定着しております。茶屋街では芸妓さんが活躍しておられます。東京にあった国立工芸館も金沢に移転されました。コロナ前、金沢を訪れる外国人観光客が急速に増えました。金沢の場合、アジアよりも欧米豪の割合が高いのが特徴です。欧米豪の方には体験型の観光などが人気です。私がいた時には5カ国の国際交流員がいて、意見交換をしながら国別にどういう対応をするか戦略を練っていました。イベントとしては、フルマラソンの金沢マラソン、ジャズ、アカペラのほか、全国の高校生のWASHOKUグランプリや、大学生の茶道クラブが全国から毎年集まる大茶会を始めました。

地域活性化にはハードだけでなく、ソフトとの連携、おもてなしの心が必要です。文化スポーツコミッションをつくってスポーツ大会を誘致する際には、金沢は文化でおもてなしをしています。金沢駅の柱には金箔、九谷焼、加賀友禅など本物の伝統工芸品が施してあります。駅舎を出ると「もてなしドーム」と鼓門があり、タペストリーには金沢で今何が行われているか掲示しています。鼓門を加賀五彩とよばれる五色でライトアップする取組も始めました。

おもてなしということでは、私自身も率先して、ボランティアの方々と一緒に、金沢でサッカーJ2ツエーゲン金沢の試合が開催されるときは、多くの試合、新幹線の改札口とスタジアムで、アウェイチームのサポーターの来訪を歓迎していました。金沢駅でお迎えし、バス乗り場でお見送り、スタジアムでは、まずはホーム側のサポーターに来場お礼のご挨拶をし、また、アウェイ側のサポーターをお迎えして「ようこそ金沢へお越しくございました」とご挨拶していました。

地方の活性化は行政だけがするものではありません。金沢にいた時、住民の方から「金沢は観光都市ではない、文化都市、創造都市なんだ」と強く言われました。自分たちのまちの歴史や文化に自信を持つ。誇りを持つ、こうした市民一人ひとりの意識が「まち」を作っていくのではないのでしょうか。

最後になりますが、私が金沢とともに過ごし、こうしたことを教わったお一人でもあり、名古屋城本丸御殿の復元や愛知万博にもご尽力された方が、先日名古屋高速のバス事故でお亡くなりになりました。ご冥福をお祈りするとともに、本日名古屋でこうしたお話をさせていただきご縁をいただくことができましたことに改めて感謝申し上げます。私のお話を終えさせていただきます。御清聴いただきまして誠にありがとうございました。

例会のご案内

■今週行事 10月13日(木) R規定により休会

■次 週 10月20日(木)

I.D.M 18:00~20:00 若宮の杜迎賓館

■次々週卓話 10月27日(木)

テ マ: 私の研究について

卓 話 者: 米山奨学生: 周 軒さん